

圭陵会FAXニュース

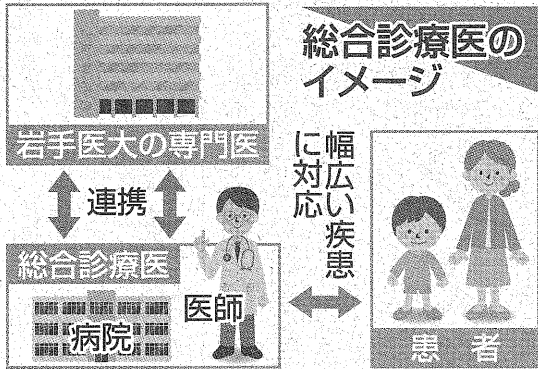
発行所：岩手医科大学圭陵会
発行人：齋藤 和好 編集人：前沢 千早
連絡先：TEL 019-624-8386 FAX 019-624-8380

第48号内容

・総合診療医 育成に本腰
岩手医大が「分野」新設

総合診療医 育成に本腰

岩手医大が「分野」新設



岩手医大(小川彰理事長)は多様な疾患へ対応できる総合診療医の育成に本格的に乗り出す。「総合診療医学分野」を今月新設し、県立千厩病院の下沖収・前院長(53)を教授に迎えた。医師不足の中で高齢化が進む県内では、特定診療科の専門医とは別に、幅広い疾患を診る総合診療医のニーズが高まっており、「地域医療の専門医」の育成システムを体系的に整える。

地域医療の担い手に 教授に下沖氏(県立千厩 病院前院長)



下沖収教授

総合診療医学分野は同大の「救急・災害・総合医学講座」の下に設置。地域医療の現場に長年携わり、日本プライマリ・ケア連合学会認定の指導医でもある下沖教授を中心に、総合診療医育成の仕組みづくりや指導医の確保を進める。

下沖教授によると、総合診療医を志す研修医や専攻医の受け入れを2018年度から順次本格化させる構想。同大付属病院や県内の地域病院での実習を通して各診療科について必要なノウハウを身に付けてもらう方向だ。

高齢化が進む地域では、特定診療科の専門的な医療よりも多様な疾患に的確に対応できる医師のニーズが高い。医療の高度化に伴い

診療科の専門性を追求する国内医療の傾向に対し、総合診療医は幅広い疾患を診られる高度なノウハウが必要。だが、岩手医大には志ある人材の確かな受け皿がなかった。

今後育成する総合診療医は地域の医療現場でかかりつけ医のように対応し、専門的な治療が必要と判断される場合には速やかに岩手医大などの専門医につなぐ役割が期待されている。

国の14年調査によると、本県の人口10万人当たり医師数は204.2人で、全国平均244.9人を大きく下回る。さらに県内でも県北や沿岸部と、県央、県南部の間で地域偏在も課題となっている。

下沖教授は「医師不足の中で地域医療の担い手として総合診療医はどうしても必要だ。疾患を問わず対応できる柔軟性と患者に寄り添う心を持つ医師を育てた

い」と抱負を述べる。

総合診療医を巡っては、18年度から予定される新専門医制度で全国的な養成が

始まる見通し。岩手医大は先手を打つ形で環境整備に取り組む。同大の佐藤洋一医学部長は「地域医療に関心ある医師を養成するプラットフォームフォーム(基盤)をきちんとつくり、医療の質向上に貢献したい」と語る。